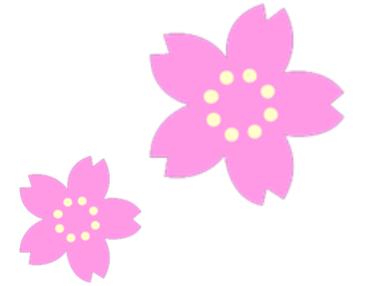


廿日市市在宅医療・介護連携推進事業



人生会議（ACP）の普及啓発 ～人生会議サポーターをとおして～

令和7年9月4日（木）中国5県共催セミナー

廿日市市健康福祉部

地域包括支援センターはつかいち西部

保健師 大内 智代

ちょうどいい、みつけた。

廿日市市

はつかいちし

本日のお話

- 🌸 市の概要と在宅医療・介護連携推進事業について
- 🌸 人生会議サポーターについて
- 🌸 人生会議の普及啓発について

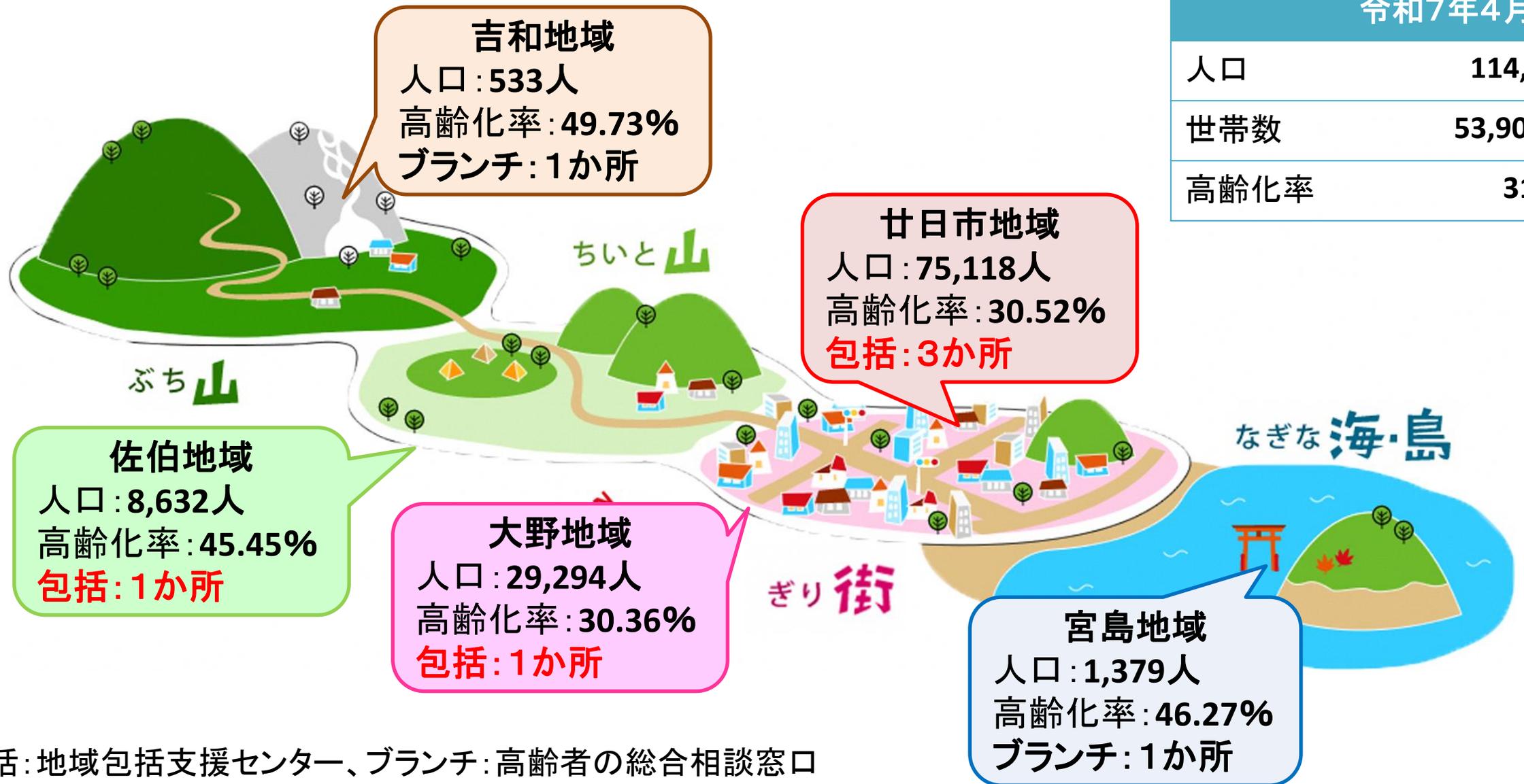
本日のお話

🌸 **市の概要と在宅医療・介護連携推進事業について**

🌸 人生会議サポーターについて

🌸 人生会議の普及啓発について

廿日市市の概要



※包括: 地域包括支援センター、ブランチ: 高齢者の総合相談窓口

イラスト: 廿日市市移住定住促進イラスト

在宅医療・介護連携推進事業の位置づけ

第6次廿日市市総合計画
(後期基本計画)

◆重点施策4 いつまでも住み続けられるまちをつくる

救急医療・地域医療の推進

高齢者福祉計画・
第9期介護保険事業計画

◆基本方針1 地域包括ケアシステムの進化・推進

医療介護との連携強化

在宅医療・介護連携推進事業

在宅医療・介護連携推進事業委員会

◆在宅医療・介護連携の課題の抽出と対応策の検討

◆切れ目のない医療と介護の提供体制構築の推進

- ・情報共有の支援
- ・専門職への研修
- ・住民への普及啓発
- ・相談支援

(相談窓口の設置:基幹型センター)

特定非営利活動法人 廿日市市五師士会



五師士会公式HP



五師士会公式
Instagram



五師士会イメージ
キャラクター
ごしっしー

※1 福祉士会には、社会福祉士・精神保健福祉士が所属しています。

※2 リハビリ士会には、理学療法士・作業療法士・言語聴覚士が所属しています。

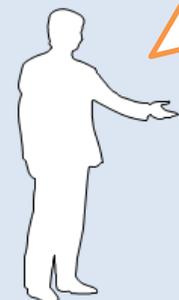
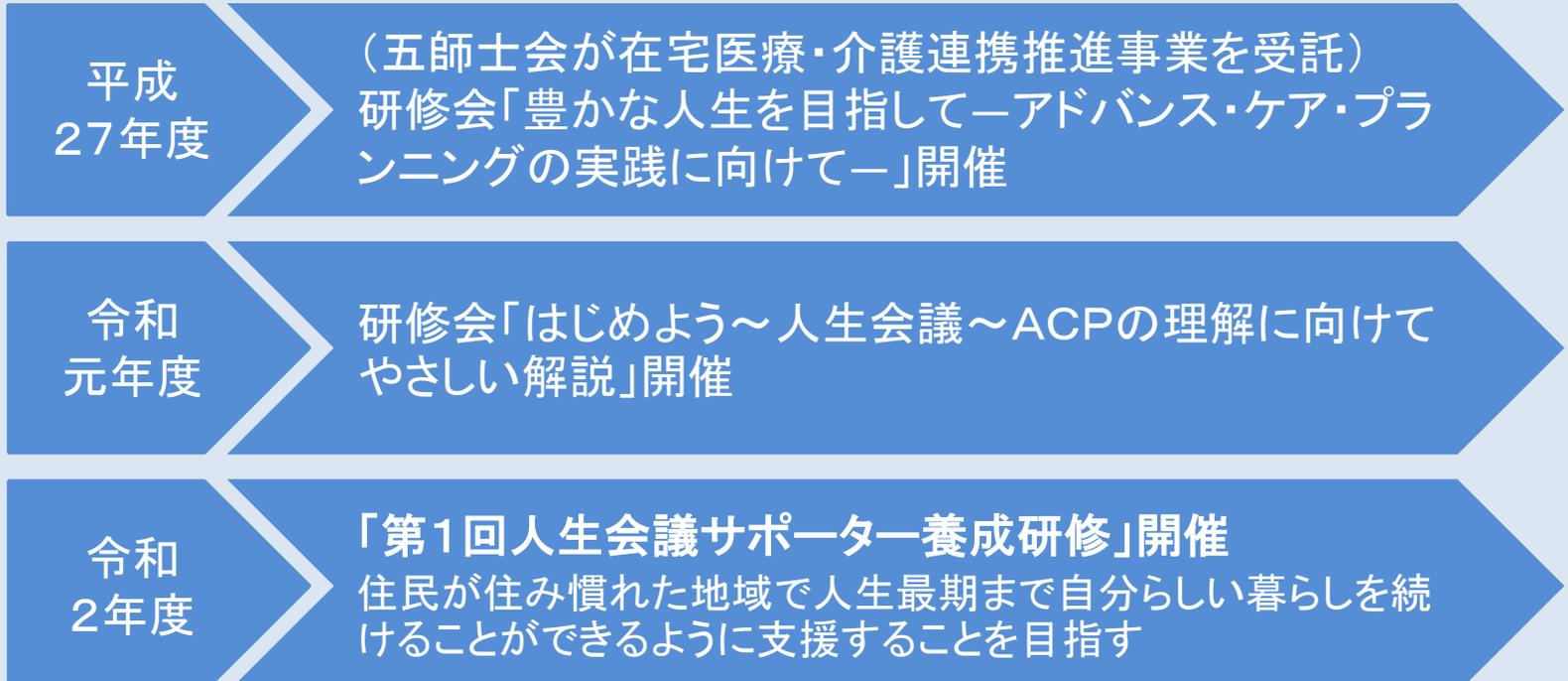
本日のお話

🌸 市の概要と在宅医療・介護連携推進事業について

🌸 **人生会議サポーターについて**

🌸 人生会議の普及啓発について

人生会議サポーターの経緯



在宅医療・介護連携推進事業委員会で、委員長の医師(在宅療養支援診療所医師、厚生労働省委託事業・人生の最終段階における医療体制整事業「患者の意向を尊重した意思決定のための研修会(E-FIELD)」指導者)より、
「医療と介護の両方を要する後期高齢者が増え、その先には多死社会が訪れる。**誰もが人生の最終段階について考えられるようになるために、まずは五師士会会員がACP(人生会議)を理解し、啓発**できたらどうだろうか。」
と提案があり、委員全員一致で賛同し、五師士会でACP(人生会議)を啓発することになる。

まちづくり市民アンケート調査(R2.7月)
1,986回答(回答率:39.7%)

はじめて聞いた	81.5%
言葉のみ知っている	11.1%
内容を知っている	5.4%
すでに行っている	1%
不明	1%

知っている割合
17.5%

人生会議サポーター養成研修

目的

医療関係者や介護関係者が人生会議（ACP）を学び、それぞれの活動に関わる人々に積極的に普及する

内容

- ①講座（60分）
人生会議とは、人生会議の必要性、人生会議の実践
- ②ロールプレイ（2事例）（60分）
医療・福祉従事者役、患者役、観察者で実施

講師

意思決定支援教育プログラム修了者
市内クリニック 医師

対象

五師士会会員及び廿日市市内の医療関係者や介護関係者、行政職員等
（再受講可能）



ロールプレイの様子



人生会議サポーター養成研修
修了者には、認定証を発行

人生会議サポーターフォローアップ研修

目的

医療関係者や介護関係者が人生会議（ACP）の普及啓発の方法や、人生会議に関わる知識について学びを深め、住民を対象に積極的に普及する

内容

- ①講座（90分）
- ②グループワーク（30分）
 - ・「もしバナゲーム」
 - ・「人生100年これからゲーム」の紹介

講師

五師士会会員、外部講師 等

対象

五師士会会員及び廿日市市内の医療関係者や介護関係者、行政職員等
（再受講可能）

フォローアップ研修の様子



人生会議サポーター実績・予定

養成研修実績

回	実施日	新規修了者
第1回	令和2年12月3日	65人
第2回	令和4年10月21日	33人
第3回	令和5年8月23日	29人
第4回	令和6年9月11日	34人

161人

R7年度計画

廿日市市五師士会では、「人生会議サポーター」の養成に取り組んでいます。

人生会議サポーター研修会

参加無料

のご案内

人生会議とは・・・
もしもの時のために、自分が望む医療やケアについて、前もって考え、繰り返し話し合い、共有する取り組みの事です。



第5回 人生会議サポーター養成研修会

とき 令和7年8月28日(木)
14:00～16:00

内容 ①講義「人生会議とは」
②ロールプレイング(2事例)

講師 勝谷・小笠原クリニック院長
小笠原 英敬 氏
厚生労働省委託事業 人生の最終段階における医療体制整備事業「患者の意向を尊重した意思決定のための研修会(E-Field)」指導者で、地域の出前講座や専門職の研修会等でもご講演をされています。

対象 五師士会会員、市内の医療や介護関係者、行政職員

人生会議フォローアップ研修会

とき 令和7年9月27日(土)
14:00～16:00

内容 ①講義「死を見つめつつ人生を生きるために～スピリチュアルケアについて学ぶ～」
②グループワーク「人生100年これからゲーム」

講師 元 淀川初外教病院 チャブレン 藤井 理恵 氏
終末期患者とその家族に、長期にわたり寄り添ってこられた元病院のチャブレン(聖職者)をお呼びしています。現在、その経験を基に各地での講演や執筆活動をされています。

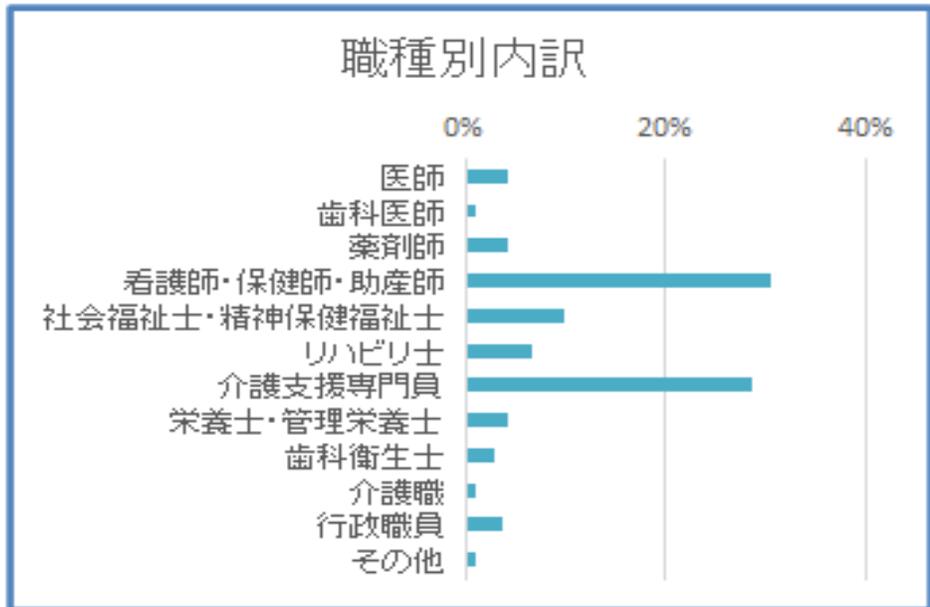
対象 五師士会会員、市内の医療や介護関係者、行政職員

場所：両日ともに 廿日市市学研多世代サポートセンター
(廿日市市地御前一丁目3番28号)
※ホールは土足禁止のため、上履きをご持参ください。
※駐車場はJA広島総合病院(立体駐車場)をご利用ください。
1台につき200円引きサービス券を発行します(入場から5時間までの駐車料金は200円)

●修了者には、人生会議サポーターの認定証を発行します。認定証をお持ちの方の参加も歓迎します!
●それぞれ、2週間前までにお申し込みください

【お問い合わせ】
特定非営利活動法人廿日市市五師士会
☎ 0829-30-9023

▶右のQRコード、もしくは裏面を使用してお申し込みください。

本日のお話

🌸 市の概要と在宅医療・介護連携推進事業について

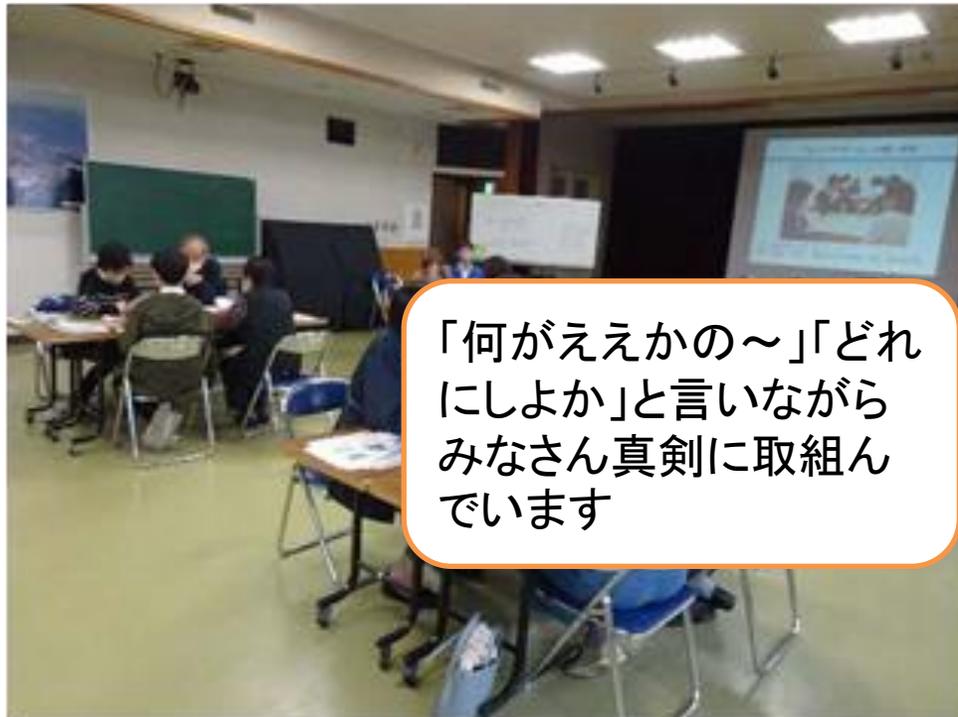
🌸 人生会議サポーターについて

🌸 **人生会議の普及啓発について**

人生会議の普及啓発①

「人生会議をはじめよう！」をテーマに人生会議サポーターが出前講座を実施

地域住民が参加するサロンやイベントに専門職(五師士会の会員、事務局職員、人生会議サポーター、地域包括支援センター等)が出向き、出前講座やミニ講座、相談会にて人生会議の講座を実施



「何がええかの～」「どれにしようか」と言いながらみなさん真剣に取り組んでいます

出前講座の様子



↑ もしバナゲーム
医師から、余命が「6か月」と宣告されたら・・・を想定し、何を大切にしたいかという思いでカードを選ぶ



↑ 人生100年これからゲーム
100歳になったとき、どのようなことを大切にしていきたいかという思いでカードを選ぶ

人生会議の普及啓発②

人生会議をテーマとした講演会や上映会、在宅医療に携わる医師によるトークセッションを実施

令和7年度廿日市市在宅医療・介護連携推進事業

上映会 **ピア** **入場無料
申込不要**
～まちをつなぐもの～

最期の願いは、僕たちが支える。
在宅医療に懸命に取り組む、若き医師と仲間たち—命と希望の物語

と き **12月13日 土**
14:30～16:45 14:00開場

と ころ **ウッドワンさくらぴあ** 大ホール
(はつかいち文化ホール 廿日市市下平良一丁目11-1)

プログラム

第1部 在宅療養支援診療所医師と
ケアマネジャーによる
トークセッション(20分)

 谷川未夏
ケアマネジャー
土谷居宅介護
支援事業所阿品

 木村真大
医師
きむら内科
小児科医院

第2部 **上映会**
「ピア～まちをつなぐもの～」(99分)

主 催 廿日市市五師士会 在宅医療・介護連携推進事業委員会
協 力 廿日市市高齢介護課 廿日市市地域包括支援センター
お問い合わせ 廿日市市五師士会事務局 (0829)30-9023


五師士会 / 五師士会事務局
ごししー

テーマ：
自分らしく『最期まで生きる』
ために、どこで誰とどんなケア
を望むのか考えるきっかけと
なる時間をつくる

成果と課題

【成果】

市、五師士会、地域包括支援センターが協働しながら人生会議を普及啓発する体制が整っている

【課題】

市民アンケートの結果「人生会議」という言葉を知っている人が少ない

- ▶ 人生会議サポーターの対象範囲を拡大(来年度以降検討)
- ▶ 出前講座を引き続き実施し、サービス付高齢者住宅やケアハウス等にも出向く予定
- ▶ 県とも連携し取組みたい(若い世代への普及)

「人生会議」を知っている人の割合は低いが、実際に話し合いをしている人は増加

目指す姿	成果指標	R2	R3	R4	R5	R6	データソース
サービスの目標		(2020)	(2021)	(2022)	(2023)	(2024)	
医療と介護の両方を必要とする人が住み慣れた地域で、自分らしい暮らしを人生の最期まで続けることができるようになる	もしもの時に備えて、家族や大切な人、医療関係者と、治療や療養、人生の最期について話し合い(人生会議)をしている割合(O)	—	—	—	62.1%	↑ 67.6%	(市)高齢者の保健福祉に関するアンケート調査
	市民の人生会議(ACP)の周知度(O)	17.5%	①17.6% ②13.2%	12.9%	17.8%	↘ 15.7%	(市)市民アンケート



ご清聴ありがとうございました



市の木:さくら

ちょうどいい、みつけた。

廿日市市

ほつかいちし